

栃木市立地適正化計画「防災指針」の素案に関する
パブリックコメントでの意見に対する回答

1 実施期間

令和6年11月1日（金）から令和6年12月2日（月）まで（必着）

2 閲覧場所

- ・市ホームページ
- ・都市計画課（本庁舎3階）
- ・各総合支所地域づくり推進課
- ・各公民館（大宮・皆川・吹上・寺尾・国府）
- ・市政情報センター（本庁舎4階）

3 寄せられた意見及びその回答

番号	意見	市の考え方
1	P19～20 2 災害リスク分析 （3）地震について、 章立てが ――― （3）地震 ア）重ね合わせ分析【震度分布× 建物分布】 イ）重ね合わせ分析【液状化危険 度×建物分布】 ――― となっているが ――― （3）地震 1）震度分布 ア）重ね合わせ分析【震度分布 ×建物分布】 2）液状化危険度 ア）重ね合わせ分析【液状化危 険度×建物分布】 ――― が正しいのではないか？	2 災害リスク分析では、分析の 対象とする災害ハザード情報ごと に片かっこの見出しを付けている ことから、頂いたご意見のとおり 修正します。

2	P37『【共通③】市民の防災意識啓発』の具体的な取組で、 『防災訓練の実施』 『(外国人住民を対象とした) 防災訓練の実施』 に分けて記載しているが、 『大規模災害における自助の精神に関する住民意識の啓発、図上訓練』 『自主防災組織の育成・推進』 『防災リーダーの育成・推進』 は外国人住民の記載が無い。 外国人は対象としないのか？ なぜ防災訓練の実施のみ外国人住民を対象とするのか？	『(外国人住民を対象とした) 防災訓練の実施』は、災害時において外国人住民への緊急の情報が伝わらない事態をリスクとして想定していることから記載しましたが、ご意見のとおり分けて記載する必要性が低く、他の取組においても外国人も対象とすることから、 『(外国人住民を対象とした) 防災訓練の実施』の記載を削除します。
3	P38 アウトプット指標：ハード対策に3件しか記載がなく、具体的な取組にリンクするアウトプット指標：ハード対策がわからない。 具体的な取組の中で、市が実施主体でハード対策が全部で24件あるので、その24件についてアウトプット指標：ハード対策の目標値を設定し記載して欲しい。	アウトプット指標は、特に本計画との関連性が高く重要な取組であると判断したものを目標として記載しました。 その他の取組につきましては、「栃木市国土強靱化地域計画」や「栃木市総合計画」などの関連計画にて進捗管理を行っており、本計画においても各取組の進捗把握に努め、定期的な更新を実施してまいります。
4	P32 市有施設の浸水対策は必要であると考えますが、実施にあたっては、市有施設のみならず、周辺住宅等への影響がないよう十分な対策をお願いします。 特に警察署跡地においては、過去からの度重なる拡張や利用の変更の度に、徐々に土地がかさ上げされてきており、近年の大雨の際には敷地内の水が周辺住宅に流入することがあります。周辺の住宅に影響がないよう十分な対策と排水能力を維持するための十分な管理をお願いします。	いただいたご意見につきましては、庁内会議にて共有いたしました。市有施設の整備にあたりましては、周辺環境への影響に十分配慮してまいります。 なお、警察署跡地については、令和6年9月に土地利用方針を決定し、多目的広場、駐車場等の公共機能の早期整備を目指すこととしました。整備にあたっては新たに敷地内側溝や雨水浸透施設を設置し、敷地外に雨水が流出しないよう整備してまいります。